

Technical Data Sheet

2012/10/18

90-58405 Tribute8040 ガラス交換キット

キットに含まれるもの			ご用意いただくもの
3030-043	ガラス	1枚	はさみ
3110-056	1/4インチ・ロープガスケット	150 cm	ドライバー
3120-021	ガラスクリップ用ガスケット	6枚	ワイヤーブラシ
4500-1874	ガラスクリップ用ネジ	6ヶ	作業用グローブ
5021-060	ガラスクリップ	6ヶ	潤滑スプレー(必要に応じて)

始める前に

- 必ずストーブが冷めた状態で作業してください。
 - 割れたガラスの扱いには十分ご注意ください。
 - ガラスに表と裏はありませんので、どちらの面が表でも構いません。
 - **ネジをきつく締めすぎないようにご注意ください。**ガラスは熱で膨張しますので、きつく締めすぎるとヒビや破損の原因になります。
1. ドアを開け、そのまま上へ持ち上げてストーブ本体からドアを外します。ヒンジピンとワッシャーは元に戻すときのためになくさないようにしてください。ドアの正面を下にして、作業しやすい場所に置きます。エナメルドアは、表面を傷つけないようやわらかい布などで保護してください。
 2. クリップを固定しているネジ(6箇所)を外します。(ネジが錆びついて外れにくい場合は、無理に外そうとせず、潤滑スプレーを塗布後しばらく置いてください)作業用グローブをはめ、割れたガラスを慎重に取り外し、廃棄してください。
 3. 古いガスケットを取り除いたら、溝の汚れやサビをワイヤーブラシで落とし、かたく絞った布で残った汚れをきれいに拭き取ってください。新しいガスケットはシール付なので、接着剤は不要です。ガスケットについている紙を少しずつはがしながら、シール面を溝のほうへ、ガスケットを溝に押し込むように装着します。ガスケットは引っ張らず縮めず、一周したらガスケットが重ならないように、余分な分はカットしてください。
 4. 新しいガラスをセットしクリップとネジで元通りに固定します。この時**ネジをきつく締めすぎないようにご注意ください。**小さいガスケットはガラスとクリップの間のクッション材としてお使いください。
 5. ガラスを取り付けたフロントドアを元に戻します。この作業は一人がガラスドアを持ち、もう一人がワッシャーを挟みピンを入れるようにすると楽です。

鋳物のサビが原因でガラスが割れるケースがありました。錆びが盛り上がり、ガラスが圧迫されて破損の原因となったようです。ガラス交換の際には、鋳物のサビをきれいに落としてください。
また、スプレー式の液状ガラスクリーナーをお使いの場合は、吹き付けた液体がたれてドア下部にたまり、サビやガスケット硬化の原因となりますので、液だれしないようご注意ください。